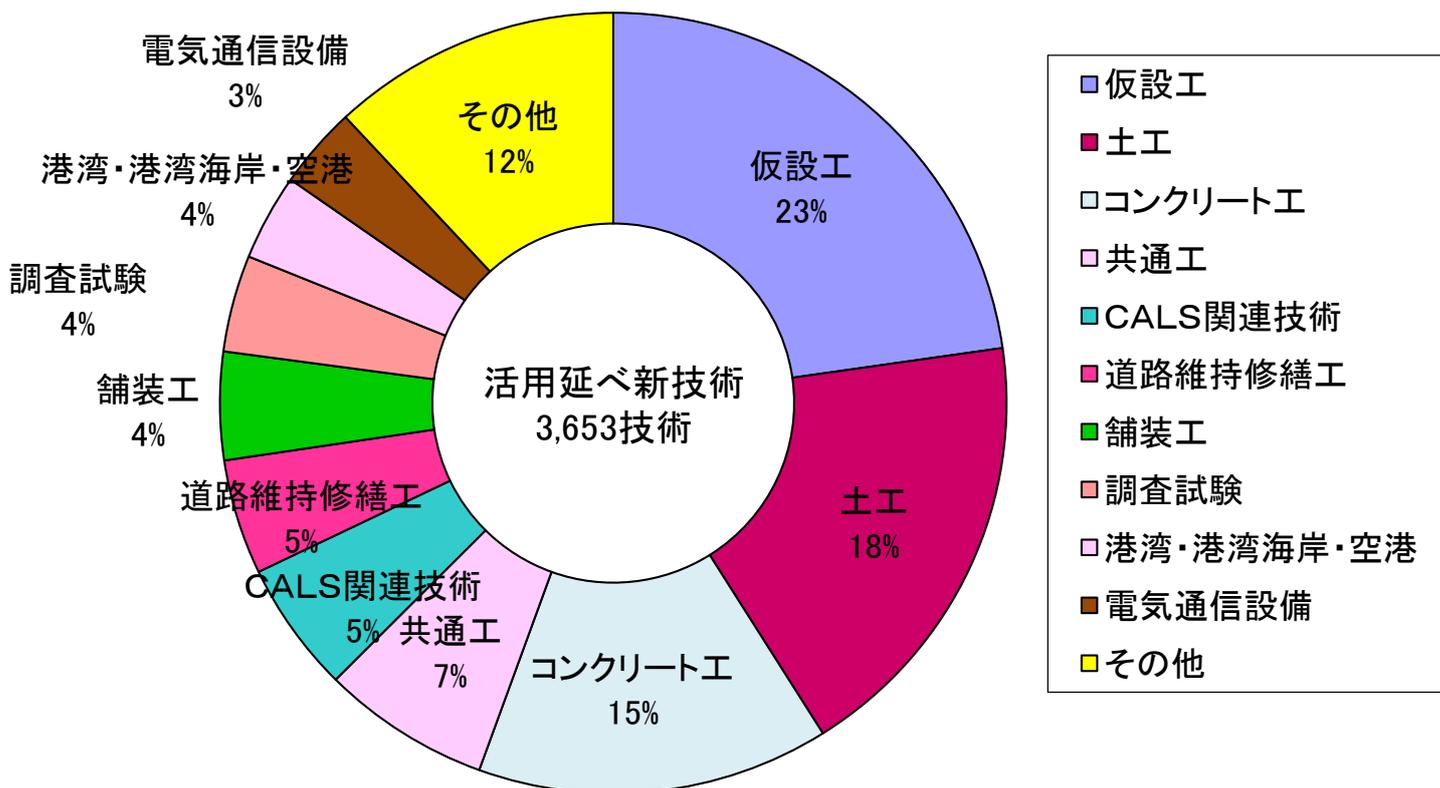


九州地方整備局管内の活用件数の多い工種

●新技術活用件数の工種別内訳は下記のとおりです。

令和2年度において、活用述べ新技術数3,653件のうち、もっとも多くの新技術が使われた工種は、「仮設工」でした。

次いで、「土工」、「コンクリート工」、「共通工」、「CALs関連技術」、の順に、多く活用されていました。



活用延べ新技術数の工種別内訳

順位	工種ランキング	活用件数 (延べ技術数)
1	仮設工	840
2	土工	676
3	コンクリート工	535
4	共通工	256
5	CALS関連技術	200
6	道路維持修繕工	176
7	舗装工	165
8	調査試験	148
9	港湾・港湾海岸・空港	132
10	電気通信設備	125
	その他	400
	合計	3,653

港湾・空港を含む。